

子どもは「地域の宝」。

みんなで支え、育てましょう。

子どもは、この先の時代を担う大切な宝であり、矢板市の未来を創造するかけがえのない存在です。

少子化が加速することは、人口構造に不均等をもたらし、労働力人口の減少や社会保障負担の増加、地域社会の活力低下など、将来に深刻な影響を与えるものとして懸念されています。

ここで、本市における子ども・子育てを取り巻く現況を見てみましょう。

矢板市における子ども・子育てを取り巻く現況

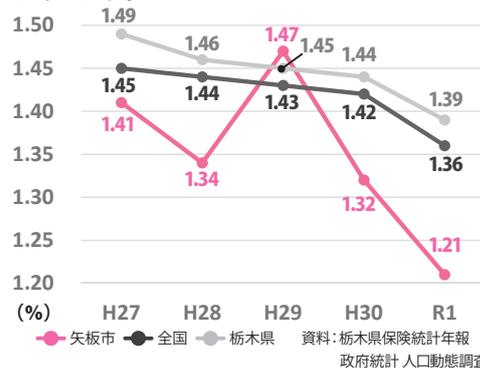
① 出生数の推移

令和2年は147人となり、平成26年の239人と比較して約6割にまで減少しています。



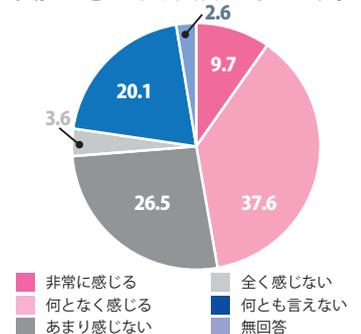
② 合計特殊出生率の推移

令和元年は1.21となり、2年連続で低下しました。全国・県の平均と比較して低水準で推移しています。



③ 子育てへの不安・負担感

「非常に感じる」、「何となく感じる」を合わせると、4割以上が不安や負担を感じると回答しています。



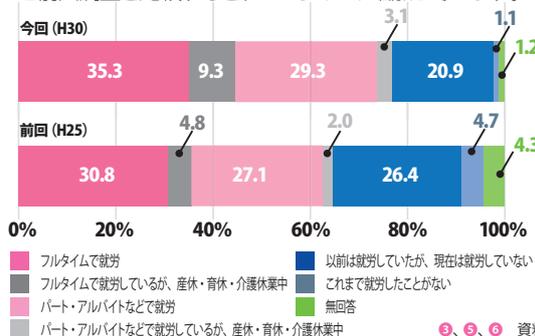
④ 母子世帯数の推移

平成27年は211世帯となり、平成7年の122世帯と比較して約1.7倍となっています。



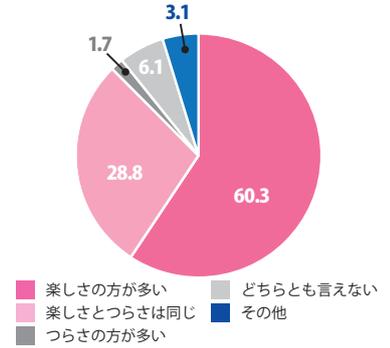
⑤ 母親の就労状況

産休・育休・介護休業中に関わらず、フルタイムやパート・アルバイトなどで「就労している」と回答した割合を前回調査と比較すると、12.3ポイント増加しています。



⑥ 子育ての楽しさ

「楽しさの方が多い」が最も多く、6割以上となっています。



子どもたちのために、できることから。

上記のように、本市においても出生数の減少や就労する母親の増加など、子ども・子育てを取り巻く状況は昔と変わりつつあり、家庭の孤立化などにより子育てに悩む親が増えています。

そのため、安心して子どもを生み育てられるとともに、子ども自身が安心して健やかに育っていけるよう、地域社会全体で子育てを支えていくことが重要になります。

今号では、地域において子どもの成長を支える活動に取り組んでいる方などを紹介します。

皆さんも、子どもたちのために、できることから始めてみませんか？



次ページで、地域で子どもたちのために活動している方などを紹介しています！



子ども食堂 (キマグレどころ)



「おいしく食べて、明日からまた頑張ろう！と思える、子育て世代の心のよりどころにしたい」

私は、保育士をしていた経験があり、退職後も子どもたちに関わることをしていきたいと思っていました。そこで、毎日忙しくて大変な子育て世代の家庭に、たまには夕食を作らず、この場所でおいしくご飯を食べてもらい、集まった家族同士で悩み相談や親睦を深められる居場所づくりを目的に、子ども食堂を始めました。私自身も子育て真っ最中ですが、ここに来てくれた人が「明日からまた頑張ろう！」と思えるよう、私自身が明るく元気に振る舞おうと心掛けています。これからも、子育て世代の心のよりどころになる子ども食堂を開催していきたいと思います。

キマグレどころ 代表 植木 沙弥香さん
 ▶キマグレどころ
 毎月1回、土曜日に、矢板市ふるさと支援センター TAKIBI のシェアキッチンを利用して子ども食堂を開催
 ※詳しくは、Instagram「気まぐれでよかんべ」をご覧ください。



子どもの遊び場 (AKICHI)



「空き地を利用した遊びの場を提供。遊びをきっかけに健康づくり、地域の交流につなげたい」

私は、市内の病院に勤務し健康運動指導士として、介護予防や健康になるための運動サポートを行っています。そこで、小さいうちから健康で丈夫な体を育むために何かできないかと考え、体を動かすことの大切さや楽しさを感じてもらおう、遊びの場を提供するAKICHIを立ち上げました。子どもたちには、空き地などでの遊びを通じて体力向上と自己判断力の育成や社会性を養い、健全な大人に育ってほしいと考えています。また、ここを利用して子どもたち、親同士の交流が図られ、この地域でのコミュニティの活性化にもつながってほしいと願っています。

AKICHI 代表 塚田 翠さん
 ▶AKICHI
 月1回程度、日曜日に、片岡公民館や安沢公民館を利用して、子どもたちが自由に本気で遊べる遊びの場を提供
 ※詳しくは、Facebook・Instagram「AKICHI」をご覧ください。



市民の皆さんのまちづくりを応援♪

▶いきいき市民力助成金
 市民の皆さんのまちづくりを応援するため、市民団体が自主的に行う公益性の高い事業に対し、助成金を交付しています。



詳しくはこちら



上記2団体は、「いきいき市民力助成金」を活用して取り組んでいます♪詳しくは、お問い合わせください！
総合政策課
 ☎ 43-1112



株式会社 壮関



株式会社 壮関 管理部の皆さん
 ▶株式会社 壮関
 ・創業：1991年
 ・所在地：矢板市こぶし台4番地1(矢板南産業団地)
 ・従業員数：300人
 ・事業内容：水産・農産物加工品の製造・販売など
 詳しくはこちら



「育児休業復帰率 100%。働きやすい職場づくりで社員とその家族の笑顔を増やしたい。」

当社は、全従業員の3分の2が女性で、日々、女性のパワーに助けられています。そこで当社では、産休・育休取得に伴う社員の不安を解消するための相談やフォローに力を入れることで「育児休業復帰率 100%」を実現しています。また、毎週水曜日を「笑顔あふれる DAY」として定時退社の促進や、日ごろから社員1人ひとりが有給休暇を取得しやすいよう、社内の雰囲気づくりに務めることで、社員全員が働きやすい職場を目指しています。今後は男性の育児休暇取得の促進を進めるとともに、働きやすい職場づくりを通して社員とその家族の笑顔を増やしていきたいと考えています。



地域の皆さまへ



「地域社会は、子どもが社会性を身につける重要な場。地域一体となって子どもたちを支えましょう」

地域社会が持つ機能の1つに、子どもが生まれ育つ場としての機能があるといわれています。しかし、近年は少子化や生活スタイルの多様化などの影響で、そうした機能が弱まり、今、改めて次世代育成の場としての地域社会の再生が求められています。そのため、行政や企業、住民など地域社会を構成する全ての方が、子どもの健やかな成長の実現という目的を共有し、子育て支援の重要性への理解と関心を深め、それぞれが役割を果たすなど、地域一体となって取り組む必要があります。本市では、「ファミリーサポートセンター」などの事業を通じて、地域社会としての子育て家庭の支援につなげたいと考えています。皆さまも「地域の宝」である子どもたちを社会全体で支え、子育てしやすい街にしていきたいと思います。



子ども課長 小野崎 賢一

▶ファミリーサポートセンター事業

子育ての支援をしてほしい人(依頼会員)と、手助けをしたい人(提供会員)がそれぞれ会員となり、助け合いながら、地域全体で子育て家庭を支援する事業



詳しくはこちら



- ①依頼会員からセンターに申し込み
 - ②センターが提供会員と調整を図る
 - ③提供会員からセンターに承諾の連絡
 - ④センターが依頼会員に提供会員を紹介
 - ⑤提供会員が依頼会員をサポート
 - ⑥依頼会員から提供会員に報酬を支払う
- ※提供会員に支払う時間当たりの報酬は、支援内容に応じて異なります。

♪時間と気持ちの余裕があるときに♪

▶ファミサポ会員の声



山崎 真知子さん

私は退職を機に、提供会員に登録しました。最初は不安もありましたが、実際にやってみると子どもたちとの触れ合いが楽しく、とてもやりがいがあります。私の場合、学校から自宅へ送り届けるなどのサポートが多いですが、子どもたちが学校での出来事を楽しそうに話してくれるのが微笑ましいです。

